



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 ピクセルカンパニーズ株式会社

コード番号 2743 URL <http://pixel-cz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 弘明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼コーポレート本部長

(氏名) 本瀬 建

TEL 03-6731-3410

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	11,592	△3.0	22	—	3	—	△166	—
26年12月期第3四半期	11,951	△19.1	△450	—	△461	—	△509	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △218百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 △480百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△31.10	—
26年12月期第3四半期	△104.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年12月期第3四半期	5,026	—	1,412	—	27.8	196.21
26年12月期	5,283	—	1,100	—	20.8	225.26

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,397百万円 26年12月期 1,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	—	50	—	10	—	△164	—	△23.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ルクソニア株式会社、除外 1社 (社名)
当第2四半期会計期間において、ルクソニア株式会社を株式交換により完全子会社化したことにより、新たに連結の範囲に加えております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	7,120,900 株	26年12月期	5,731,900 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	— 株	26年12月期	844,400 株
-----------	-----	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	5,350,357 株	26年12月期3Q	4,887,500 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融用品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さがみられることや中国を始めとするアジア新興国等の海外景気の下振れリスクはあるものの、全体として企業収益は改善しております。雇用情勢についても引き続き改善傾向にあり、個人消費についても底堅い動きとなり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新製品の開発や既存顧客との取引活性化に努めるとともに、経費の圧縮を図ってまいりました。しかしながら、主力事業であるマーケティングサプライ事業における他社との販売価格競争等により、引き続き厳しい状況で推移しました。一方、環境関連事業においては、産業用太陽光発電施設の販売、産業用太陽光発電施設の取次が順調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,592百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は22百万円（前年同期は営業損失450百万円）、経常利益は3百万円（前年同期は経常損失461百万円）、四半期純損失は166百万円（前年同期は四半期純損失509百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(マーケティングサプライ事業)

マーケティングサプライ事業は、主に既存顧客への販売促進強化と新規商品の提案に努めたものの、消費税増税前の駆け込み需要等の特殊要因があった前年同期に比べ、売上高が減少いたしました。また、営業利益については、引き続き他社との販売価格競争等により減少いたしました。商品区分別の売上高では、トナーカートリッジ5,705百万円、インクジェットカートリッジ2,206百万円、MRO438百万円、その他売上589百万円となりました。

以上の結果、当事業における売上高は8,933百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は78百万円（前年同期比23.7%減）となりました。

(環境関連事業)

環境関連事業は、産業用太陽光発電施設の販売、産業用太陽光発電施設の取次が順調に推移いたしました。また、当第3四半期連結累計期間より、ルクソニア株式会社の業績を取り込んでおり、ルクソニアが展開するEPC事業が順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は932百万円（前年同期比57.2%増）、営業利益は142百万円（前年同期は営業損失156百万円）となりました。

(海外事業)

海外事業は、中国国内における人件費上昇等により日系企業の撤退が相次ぐ中、これまでの日系企業向けの営業中心の体制から中国系企業、その他の外資系企業への営業にシフトし、販売費及び一般管理費の見直しに努めたものの、引き続き厳しい状況となりました。

以上の結果、当事業における売上高は211百万円（前年同期比8.8%減）、営業損失は30百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、売上高においてはすべての事業部門で順調に推移いたしました。また、利益面においても、事業部門の見直しによる販売経費の圧縮等により、営業利益となりました。

以上の結果、その他の事業における売上高は1,514百万円（前年同期比36.7%増）、営業利益は56百万円（前年同期は営業損失115百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、売上債権が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、5,026百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、仕入債務や借入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ568百万円減少し、3,614百万円となりました。

また、純資産につきましては、資本金や資本剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ311百万円増加し、1,412百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月7日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期会計期間において、ルクソニア株式会社を株式交換により完全子会社化したことにより、新たに連結の範囲に加えております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、これまでマーケティングサプライ事業を主力事業として安定した収益確保に努めて参りましたが、前連結会計年度においては、長期化する為替円安に加え他社との販売価格競争の激化及び取引先に対する貸倒引当金の計上等により販売費及び一般管理費が大幅に増加したことで、営業損失521百万円、経常損失518百万円、当期純損失497百万円を計上いたしました。当第3四半期連結累計期間においては営業利益22百万円、経常利益3百万円を計上したものの、他社との販売価格競争及び事業撤退損の計上等により、四半期純損失166百万円を計上しております。

当社グループは、マーケティングサプライ事業を主軸として収益確保に努めているものの、政府や日銀による各種政策等による為替円安の影響により、当該事業の業績回復が遅れ、引き続き厳しい状況となりました。そこで、当社グループは、当該状況をいち早く解消すべく、徹底したコスト削減に取り組み、創業事業であるトナーカートリッジを中心とするマーケティングサプライ事業を中核とし、取扱商品の再拡充、周辺の商品拡充、新商品の開発や役務サービス提供による収益化を図っております。環境関連事業の業容拡大等、既存事業の育成・活性化を図り、財務基盤の改善、組織基盤の再構築を図ってまいります。また、平成27年8月12日に「会社分割による持分会社体制への移行並びに定款変更（商号及び目的、本店の所在地の変更）に関するお知らせ」のリリースの内容のとおり、早期の営業黒字化の達成、事業の収益性を高め、さらなる企業価値向上のため、各事業会社の収益性を明確化し、経営資源の最適な分配を図ること、また成長施策としてのM&Aをより迅速かつ円滑に実施する機動性の確保を目的として平成27年10月1日に持分会社体制へ移行しております。

これらの状況から、継続企業の前提に関する重要事象等の状況が存在しておりますが、当該状況を解消すべく具体的な対応策を実施することから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,413,446	985,319
受取手形及び売掛金	2,557,529	2,035,527
商品	687,723	785,118
前渡金	121,078	563,881
その他	526,090	459,924
貸倒引当金	△222,616	△222,196
流動資産合計	5,083,252	4,607,574
固定資産		
有形固定資産	21,999	21,451
無形固定資産		
のれん	-	159,954
その他	4,967	6,826
無形固定資産合計	4,967	166,780
投資その他の資産		
投資有価証券	2,029	12,238
その他	326,707	379,194
貸倒引当金	△161,761	△165,417
投資その他の資産合計	166,975	226,015
固定資産合計	193,942	414,247
繰延資産	6,764	4,710
資産合計	5,283,960	5,026,533
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,709,511	1,563,011
短期借入金	1,199,350	898,563
1年内返済予定の長期借入金	222,368	145,544
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	4,666	19,571
前受金	9,143	208,563
その他	284,348	223,487
流動負債合計	3,529,388	3,158,740
固定負債		
社債	350,000	250,000
長期借入金	251,798	150,410
退職給付に係る負債	36,652	-
長期末払金	-	41,611
その他	15,153	13,460
固定負債合計	653,604	455,482
負債合計	4,182,992	3,614,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,733	778,745
資本剰余金	366,833	516,845
利益剰余金	434,310	7,360
自己株式	△475,010	-
株主資本合計	954,867	1,302,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344	498
繰延ヘッジ損益	84,789	37,316
為替換算調整勘定	60,965	56,450
その他の包括利益累計額合計	146,100	94,265
新株予約権	-	15,094
純資産合計	1,100,967	1,412,310
負債純資産合計	5,283,960	5,026,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,951,659	11,592,511
売上原価	11,051,642	10,599,388
売上総利益	900,016	993,122
販売費及び一般管理費	1,350,215	970,568
営業利益又は営業損失(△)	△450,198	22,553
営業外収益		
受取利息	937	319
受取配当金	26	27
為替差益	9,031	25,774
受取補償金	4,186	-
その他	3,324	5,971
営業外収益合計	17,505	32,093
営業外費用		
支払利息	24,092	21,145
新株発行費	-	22,701
その他	4,892	6,988
営業外費用合計	28,984	50,835
経常利益又は経常損失(△)	△461,678	3,811
特別利益		
投資有価証券売却益	120	-
受取和解金	362	-
子会社株式売却益	103,993	-
特別利益合計	104,475	-
特別損失		
事業撤退損	-	124,463
固定資産除却損	0	11,247
投資有価証券売却損	16,471	-
その他	-	16,465
特別損失合計	16,471	152,175
税金等調整前四半期純損失(△)	△373,673	△148,363
法人税、住民税及び事業税	2,242	18,122
法人税等調整額	133,964	△68
法人税等合計	136,207	18,054
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△509,881	△166,418
四半期純損失(△)	△509,881	△166,418

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△509,881	△166,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	153
繰延ヘッジ損益	24,742	△47,473
為替換算調整勘定	4,859	△4,514
その他の包括利益合計	29,856	△51,834
四半期包括利益	△480,024	△218,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△480,024	△218,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月6日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社とし、ルクソニア株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施し、当社が保有する自己株式844,400株を本株式交換による株式の割り当てに充当いたしました。

また、平成27年9月30日付でBENEFIT POWER INC. から第三者割当増資の払込を受けました。

これらの結果、自己株式が475,010千円減少し、利益剰余金が260,532千円減少し、資本金が150,012千円、資本剰余金が150,012千円増加し株主資本合計は1,302,950千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング サプライ 事業	環境関連事 業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,017,839	593,451	232,160	10,843,451	1,108,207	11,951,659	—	11,951,659
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	1,390	1,390	5,946	7,336	△7,336	—
計	10,017,839	593,451	233,550	10,844,842	1,114,153	11,958,995	△7,336	11,951,659
セグメント利益 又は損失 (△)	102,835	△156,019	△37,899	△91,083	△115,062	△206,145	△244,052	△450,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファシリティ関連事業、ファニチャー関連事業及び不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△244,052千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△243,499千円が含まれております。その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング サプライ 事業	環境関連事 業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,933,606	932,690	211,666	10,077,963	1,514,548	11,592,511	-	11,592,511
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	4,953	4,953	△4,953	-
計	8,933,606	932,690	211,666	10,077,963	1,519,502	11,597,465	△4,953	11,592,511
セグメント利益 又は損失(△)	78,468	142,266	△30,948	189,786	56,915	246,702	△224,148	22,553

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファシリティ関連事業、ファニチャー関連事業及び不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△224,148千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,194千円が含まれております。その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして区分していた「不動産関連事業」は、量的重要性が減少したため、「その他」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

環境関連事業において、第2四半期連結会計期間にルクソニア株式会社を株式交換により、完全子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては168,372千円であり、当第3四半期累計期間における償却額は8,418千円であります。